

令和 8 年度版 河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル [ダム湖版] (魚類環境 DNA 調査編) (案) 改訂箇所一覧

ページ	修正内容
令和 7 年 12 月改訂	
II-5	1.6 調査手順 図 1.1 のうち、水質監視分析業務と調査設計業務の区分けを削除し、それに伴い、※の補足文章も削除。
II-23	4.1.1 ディスクフィルターを用いたろ過 「水中の混濁物が多い場合は ～ 阻害物質除去キット等による阻害物質の除去を行う。」を追記。
II-25	4.2 DNA の抽出 「抽出に用いる試薬の液量はフィルターの種類や使用する器具に合わせて増量してもよい。ただし、組成比は変更してはならない。」を追記
II-27	4.3.1 環境 DNA の分析条件 MiFish プライマーの混合比率 : U:U2:Ev2:L=4:2:2:1 Ev2 : MifishEv2
II-28	(イ) インデクス配列の設定に関する記述を変更 室内に残存する過去のライブラリーに起因するコンタミネーションや、次世代シーケンサーのラン間のキャリーオーバーを防止するため、分析室の環境や使用する分析機器等に応じた適切なインデクス配列の設定を行うものとする。(環境 DNA 学会マニュアル「5-2-2-4. インデクス関連情報」を参照)。
II-29	(エ) 切り出しに関する記述を変更 2ndPCR 産物に含まれる非特異産物の影響で良好な結果が得られない場合があるため、ゲルの切り出し等による 2ndPCR 産物の精製を必ず実施する。(環境 DNA 学会マニュアル「5-2-2-2. 2ndPCR 産物の精製」を参照)。
II-39 以降	様式の記入例を河川版を参考に追記・修正